

# 希望もてる 安全・安心の 島根を

日本共産党県議団



丸山知事（中央）に要望する  
尾村（左）、大国（右）の両県議  
（2022年1月13日）

日本共産党県議団は、住民の声に耳を傾け、切実な願いを県政に届けてきました。コロナ危機の今こそ、くらしに希望がもてる島根をつくるためにみなさんと力をあわせて頑張ります。

県民の中には、新型コロナウイルス感染症、予期せぬ自然災害、さらには島根原発再稼働に向けた動きによって、命や暮らしが脅かされることへの不安が渦巻いています。

日本共産党県議団は、「県民に希望と安全・安心の島根をつくること」が『県政の使命』と強調。

丸山達也知事に対して2022年度の予算・施策では、県民の命と暮らしを守ることを県政の基軸に据えるよう求めました。

## いのちと健康を守るコロナ対策を

- 1 ワクチン3回目接種の加速
- 2 大規模・頻回・無料のPCR検査体制の拡大
- 3 病床削減の「地域医療構想」の見直し
- 4 コロナで減収となった医療機関への減収補てん・財政支援
- 5 保健所体制の強化
- 6 保育士・介護職員の配置基準の改善

一などを  
求めて  
きました



質問する尾村県議（左）と大国県議（右）

## 地域を支えている 中小業者、 農林水産業者への強力な支援



### 「新自由主義」から「やさしく強い経済」へ

まともな雇用を不安定にし、社会保障を削減し、消費税の増税、地域を支えてきた農業をこわした結果、「もろく弱い経済」になってしまいました。何でも「自己責任」「弱肉強食」の新自由主義から転換し、「やさしく強い経済」へ大改革する時です。

- 中小企業支援とセットで最低賃金を引き上げ
- 「減らない年金」など社会保障を削減から拡充に転換
- 消費税5%に減税、インボイス制度を中止
- 米価暴落対策、農業・農山村の再生
- ジェンダー平等の視点を書き、男女の賃金格差の是正

## 子どもと教育を 大切に

### “密”を回避し、学びを保障

県の少人数学級見直しで、2021年度から小学2年生が30→32人へ、中学3年生が35→38人へ縮小に。

県議会で「縮小反対」を貫いたのは日本共産党県議団だけでした。少人数学級の推進、教育費の負担軽減、教職員の勤務環境改善に力を尽くします。

